

島田輝記バレエ研究所 阿南教室

宮脇 三重子

島田輝記バレエ研究所は1959年、初代主宰者である島田輝記が徳島の子どもたちに踊る楽しさを教え広めたいと徳島市内にバレエ教室を開き、今年で65年目を迎えました。

1968年にはここ阿南市内にも教室を開きました。現在は、毎週土曜日に阿南市大湊町の大湊会館で、幼児から中学生までの研究生たちがレッスンを励んでいます。毎年、阿南市が開催する文化祭や研究所主催の公演への出演のほか、より上をめざす研究生は、県内外で開催される講習会やコンクールにも出場してレッスンの成果を披露しています。

研究生たちはそれぞれの目標に向かい練習を積み、努力を重ねています。学業や部活動、ほかの習い事もこなしながらレッスンを継続するのは厳しいときもあるでしょうが、一つ一つの舞台を経験することを通し、どの子どもも大きな成長を遂げています。ひとつの舞台を作り上げていくことは、技術的に上達するだけでなく、仲間と協力することの大切さ

や、お力をお貸しくださる大勢の方々の存在に気づき、人として生きていく上で大切なことを学べる貴重な経験にもなります。憧れのお姉さんに近づきたいと上級生の踊る姿を見つめる子、かつての自分がしてもらったように小さい子たちのお世話ができるようになった子、次の舞台ではもっと進化した踊りを披露したい！と目を輝かせ

熱心に練習に打ち込む子…。そんなキラキラした研究生たちの姿を見られることは、指導者として本当に幸せなことです。

保護者の方々にいろいろな面でお支えいただいています。昨年9月には、防災講習会を行いました。レッスン場所の大湊会館は、南海トラ



フ巨大地震による津波の到達が速く、20分程で浸水するといわれています。レッスン中に地震が起きた場合の備えが必要だという保護者のご意見から開催した講習会では、防災のエキスパートである保護者の方が講師先生を務めてくださり、地震が起きた時の身の守り方、避難場所の確認、逃げる際の注意点などさまざまなことを教わりました。地震や津波が引き起こす危険を再確認するとともに、日ごろの備えがいかに重要かということ子どもたちと共に改めて感じました。

バレエのレッスンは、身体力・表現力・知的潜在能力を伸ばし、美しい所作を身に付け、あきらめず最後までやり遂げる強い心や協調性を養

います。また、幼児から中高生・社会人といった幅広い年齢層の研究生が、さまざまな行事やイベントと一緒に参加することは、学校生活や部活動とは異なる経験であり、それが豊かな人間性を育み、精神の健全な形成にもつながります。

あなん文化紀行は偶数月号に掲載します。

問い合わせ

文化振興課

☎ 22-11798